

卒業おめでとう！

式辞～誇り高き君たちへ～

暖かな風が吹きはじめ、今年も春の息吹を感じる事が出来るようになりました。今日のこの佳き日に、太田市立城東中学校 第34回卒業式を挙行できますことを 卒業生とともに、心より感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な行事等が中止や縮小と余儀なくされ、卒業生にとっては、大切な思い出の数々が失われたことに対して、寂しくもあり、悔しくもあり、苦渋の選択だったことをご理解いただき、お許しいただければと思います。

また、本日は公私ともにご多用の中、本校を巣立ちます卒業生の前途を祝し、ご臨席を賜りました 太田市教育委員会 教育委員 佐藤 真太郎 様をはじめ、本田 由紀子 PTA 会長職務代理者様、保護者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

今日、皆さん一人ひとりに卒業証書を手渡します。皆さんが手にするこの卒業証書は、城東中学校で学ぶべきものを全て学び、卒業していくということを意味しています。三年間、仲間と共に過ごしたこの城東中学校で、『全校一心』のスローガンのもと、『絆』を深め、切磋琢磨しながら創り上げてきたこと、全てが込められている、それが卒業証書です。と同時に、その成長を支え、温かく見守ってくださったご両親やご家族の方々に、必ず感謝の思いを伝えてください。

城東中学校に赴任して2年、年々城東中学校に引き継がれてきた伝統の力と、生徒一人一人のすばらしさを実感するようになりました。勉強に、部活動に、そして学校行事にと、アイデアを出し合い、助け合い、一生懸命取り組む姿、学級が、学年が、学校全体が気持ちを一つにして取り組む姿は、見ている人たちに多くの感動を与え、大変立派でした。特に、三年生の活躍、そのリーダーシップは見事でした。

体育祭では、新型コロナウイルス感染症の影響で縮小と余儀なくされました。様々な影響を検討する中で、学級全員で取り組む種目に絞り、クラスの『絆』を深めることを目的に実施しました。どの種目でも、集中力を切らさず、競技内容に工夫を凝らし、最後の最後まで熱い戦いや演技を見せ、学級や学年の気持ちを一つにして最高の体育祭を創り上げてくれました。

保護者や先生方を感動の渦に巻き込んだ合唱発表会。3年生だけの開催になりましたが、どの学級もとても中学生のクラス合唱とは思えぬレベルの高さだったこともさることながら、自分たちの曲を完成しようという意気込みのすばらしさをひしひし感じました。その美しいハーモニーは、今でも鮮やかに思い出すことが出来ます。

生徒会本部を中心に取り組んだ『人権学習』。医療従事者への感謝の気持ちを表すため、全校で取り組んだ募金活動、そして、いじめ撲滅を目指したイエローリボンキャンペーンなどの活動は、少しずつ全校生徒の心に響き、いやな思いをする生徒が激減しました。みなさんの思いやり溢れる行動は、感動的でした。

また、部活動では、春季大会や総合体育大会が中止となり、各競技代替え試合となりましたが、目標を失うことなく全力で取り組むその姿勢に感動で身体が熱くなったのを今でも覚えています。本当に、我が城東中生を誇らしく思い涙をこらえるのに必死でした。

こうしたみなさんの活躍の成果が本校の伝統となり、一・二年生へと受け継がれていくこととなります。本当にありがとうございました。

さて、卒業生の皆さんの門出にあたり、二つのこととお話しておきたいと思います。

一つめは、「思いやり溢れる人になってほしい」ということです。

「思いやり」というのは、悲しんだり苦しんだりしている友達に対して、ただ単に同情するということではありません。まして、かわいそうにと哀れに思うことでもありません。友達が失敗したり困ったりしているときに、本当にその友達の身になって考え、相談にのってあげたり勇気づけてあげたりすることです。昨年、各教室に「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心を温める」という言葉を掲示しました。覚えていますか。どんなときでも、友達の立場に立って、そっと手をさしのべることができる、そんな心優しい人になってほしいと思います。城東中で培った友情の「絆」をこれからも大切に、大人になっても、助け合い、支え合える、それこそ、「全校一心」の大きな目的であると思います。

二つめは、「夢に向かって、諦めずに、挑戦してほしい」ということです。

皆さんはこれから、夢の実現に向かって、様々な場面で努力していくことと思います。しかし、努力がいつも結果に繋がるとは限りません。勉強も、部活動も、仕事も、何度やってもうまくいかないことがあるものです。もうだめだ、もう限界だ、諦めようと思うことも、きっとあると思います。しかし、腐ったら、そこで終わりです。

経営の神様、パナソニックの創業者「松下幸之助」さんは、「志を立てて事を始めたら、少々うまくいかないとか、失敗したというようなことで、簡単に諦めてしまってはいけない。一度や二度の失敗でくじけたり、諦めたりするというような心弱いことでは、本当に物事を成し遂げていくことはできない。」と言っています。自分の道を自らふさいでしまわずに、諦めずに「本気で挑戦」し続ける人間であってください。

最後になりましたが、保護者の皆様、3年前、期待と不安を持って、城東中学校の門をくぐったあの初々しい中学生の顔が、いつの間にか逞しさと自信に溢れた高校生の顔に変わっているのを目のあたりにし、感慨もひとしおのことと思います。心も身体も発育の著しい中学校期ということで大変ご苦労も多かったことと思いますが、わずか三年の間に、ここまで成長しました。中学校卒業後も、さらなる成長を遂げることをと思いますが、どうかいつまでもその温かい眼差しで見守り続けてください。

この三年間、城東中学校教職員、一丸となって、卒業生の成長を見守りつつ、精一杯努力したつもりではありますが、いたらない点もあったと思います。それにもかかわらず、本校に、私たちが職員にお寄せくださいましたご支援とご協力に対して心より感謝申し上げます。

さあ、卒業生の皆さん。新しい世界に向かって、前を向いて、笑顔で飛び立ってください。コロナ禍の中で楽しい思い出が削られる中でも、決して腐らず、前を見続けたみなさんだからこそ、みなさんの笑顔が一番輝くとき、さらに、さらに大きく飛躍することができるでしょう。

岡村孝子さんの「夢をあきらめないで」の歌詞にあるように、みなさんなら「苦しいことにつまずくときも きっと上手に乗り越えていける」と思います。「夢をあきらめないで、負けなように、悔やまぬように、みんならしく、いつまでも輝いていて」ほしいと心からそう願っています。

みなさんに出会え、共に過ごせたこと、そして、たくさん感動をもらったことに感謝しつつ、皆さんの前途に幸多かれと祈り、式辞といたします。

みんな、ありがとう!

令和3年3月12日

太田市立城東中学校 校長 寺内 昭浩